

ナノ工学・メカノバイオロジー融合医工連携研究センター 国際シンポジウムのお知らせ

本研究センターは、ナノ・マイクロレベルの疑似生体構造を作る「ナノ工学」と、細胞や生体分子の力学応答を調査する「細胞バイオメカニクス」や「メカノバイオロジー」を融合させた研究組織として、2016年に設置され、医工連携研究の推進に貢献することを目指して活動を行っています。

本シンポジウムでは、本研究センター長 藤江教授の元、膝関節の靭帯のバイオメカニクス研究に従事し、現在はアメリカのピッツバーグ大学に在籍する山川学志氏から、自身の研究活動を通して見出した関節バイオメカニクスを取り巻く現状とその未来について講演いただきます。

【講演タイトル】 関節バイオメカニクスの今 -アメリカでの研究を通して見えた課題と展望-

【講演者】 山川 学志 氏 (Visiting Research Scholar, Department of Bioengineering, University of Pittsburgh / 首都大学東京 システムデザイン学部博士課程 2017 年度修了)

【講演日時】 2019年7月5日(金) 16:00~18:00

【講演場所】 〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1 首都大学東京南大沢キャンパス
国際交流会館 中会議室

【主催】 首都大学東京ナノ工学・メカノバイオロジー融合医工連携研究センター
センター長：システムデザイン学部 機械システム工学科 教授 藤江 裕道

【問い合わせ先】 システムデザイン研究科 機械システム工学域 助教 鎗光 清道 (Tel:042-677-2384)

※参加費無料、事前申し込みなしで聴講可能です。

【会場への来場方法】

